

# もっと知りたい放射能⑦

## 『食の安全（その3）：いわき市の農作物の放射能（1）』

### 【農作物への放射能の移行】



事故当時に生育中の野菜は、作物の表面に放射能が付着し汚染していましたが、現在は、左図に示すように根からセシウムが吸収されている状態です。

この農作物が土壌からセシウムを吸収する割合（移行係数：平成23年5月27日農林水産省発表）を用いて、1,000ベクレル/kgの土壌のところで農作物を栽培した場合の野菜に含まれる放射能の試算値を〈表1〉に示します。市内の農地の放射能濃度は、500～2,000ベクレル/kg程度が多く見受けられます。このことから通常の農作物は、基準値（100ベクレル/kg）を下回るであろうと推測されます。

〈表1〉放射能濃度の試算

(1,000ベクレル/kgの土壌に作付け)

作物名	移行係数	試算値 (ベクレル/kg)
ホウレンソウ	0.00054	1
キャベツ	0.0078(*)	8
キュウリ	0.0068	7
ネギ	0.0023	2
ジャガイモ	0.067(*)	67
水稲(玄米)	0.1(*)	100

(\*)は指標値、その他は幾何平均値

### 【いわき市の農作物の測定状況】

昨年9月から、市とJAが連携して、出荷農作物に対し放射能検査を実施しています。本年8月上旬までに、5,200件を超える検査が行われており、検査結果は市のホームページ「見せます！いわき情報局」で見ることができます。

〈表2〉は、放射能濃度の分布状況を、作物別にまとめたものです。検出下限値を超えた作物は、392件と全体の8%弱出ていますが、食品のスクリーニング検査として国が示す検出下限値（25ベクレル/kg）では、4%程度となります。基準値100ベクレル/kgについてみると、野菜・根菜・穀類ではほとんど超えることはできないと言えます。キノコや一部の果実などは出荷制限がされているように、情報を見て食すようお願いします。また、自家消費作物の検査を市で行っているのので、ぜひ利用していただければと思います。

〈表2〉農作物の検査結果

作物	検査数 (検出下限値を超えた数)	25ベクレル/kgを超えた数	100ベクレル/kgを超えた数	最大値を示した作物 (ベクレル/kg)
野菜類	2,776 (98)	31 (1%)	2 (0.1%以下)	ブロッコリー (197)
根菜・芋類	1,103 (15)	2 (0.2%)	0 (0%)	自然薯・むかご (35)
穀類(米類・豆)	786 (54)	28 (4%)	0 (0%)	米 (59)
果実	344 (144)	100 (32%)	17 (5%)	ユズ (454)
山菜・キノコ	173 (54)	22 (13%)	6 (4%)	原木なめこ(露地)(1,800)
その他(加工品・鶏卵など)	85 (27)	16 (19%)	2 (2%)	芋がら (232)

\*検出下限値は本年3月までは20ベクレル/kg、4月からは10ベクレル/kg。

今回は個別の農作物の状況を分析・紹介します。【市放射線量低減アドバイザー 星薫雄】

## 9月18日(火)の市役所本庁舎、各支所・市民サービスセンターでの放射線量測定値

庁舎・支所	平(本庁)	小名浜	勿来	常磐	内郷	四倉	遠野	小川	好間	三和	田人	川前	久之浜・大久
地上1m	0.14	0.11	0.06	0.10	0.12	0.18	0.10	0.12	0.10	0.11	0.14	0.11	0.11
地上1cm	0.18	0.14	0.09	0.15	0.13	0.16	0.10	0.16	0.14	0.13	0.18	0.10	0.12

市民サービスセンター	中央台	豊間	泉
地上1m	0.16	0.21	0.11
地上1cm	0.17	0.29	0.13

測定時期：午前中

単位：マイクロシーベルト/時

計測機器：富士電機(株)

ハンディサーベイメータ NHE 2



### 水道水の放射性物質の測定結果

水道局では、市内全11浄水場の水道水を週4回（遠野地区の3浄水場は週1回）検査しています。現在の検査結果は、放射性ヨウ素・放射性セシウムとも、全て不検出（1ベクレル/kg未満）であり、安心して飲んでいただけます。